

全国高等専門学校ラグビー大会 準優勝!

マネージャー 情報工学科4年 西岡 祐希

物質化学工学科4年 西村 知華

1月4日から第45回全国高等専門学校ラグビー大会が、今年も神戸のユニバー競技場で開催されました。奈良高専は9年連続14回目の出場です。昨年11月に行われた近畿大会決勝では、18-12で神戸高専に勝利し2年連続の優勝を果たしました。

全国大会初戦の相手は宇部高専でした。試合開始直後に先制トライを奪われ、0-5となりました。その後もさらに2トライを許し、12-17と劣勢の状況で前半戦を終えました。後半戦で2トライを返し、苦戦しながらも22-20で初戦を突破しました。

準決勝の相手は久留米高専でした。流れの悪かった初戦から一転し、前半戦で4トライ、後半戦で4トライと着実に得点を重ねました。その結果、0-48で勝利を収め、決勝への切符を手に入れました。

決勝の相手は、昨年も全国大会決勝で戦った仙台高専

(名取)でした。奈良高専ラグビー部が全国優勝するために1年間取り組んできた成果を出したいところでしたが、結果は0-50と完敗でした。しかし、ノーサイドの瞬間まで集中を切らさず、魂のこもったプレーを発揮した試合でした。

5年生は最後まで体を張り、最上級生らしいプレーでチームのみんなを引っ張っていただきました。4年生以下は決勝で大敗した悔しさを忘れず、来季こそ全国制覇を果たせるように練習に励みたいと思います。

ご家族の方々、奈良高専OBの方々、先生方、また多くの関係者の方々、ラグビー部の活動へのご理解とご支援をありがとうございました。最近8年で全国高専大会優勝1回、準優勝4回、3位3回の成績を残しています。これも一重に支えていただいているの方々のおかげと感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。



NYPからの短期留学生を迎えて

国際交流委員長補佐 片倉 勝己

専攻科 機械制御工学専攻2年 上田 大

平成26年10月1日かち12月25日までのおよそ3カ月間、シンガポールにあるナンヤンポリテクニク(NYP 7分野50コース学生数1万6千人)から2名の短期留学生を本校に迎え入れました。NYPと本校とは、平成24年度から本校と相互交流を深め、毎年3月には30名程度のNYP生が本校を訪れ、本校からも20名程度の学生が訪問しています。また、8月には、専攻科生が1カ月間NYPに滞在して研究プロジェクトに取り組むプログラムもスタートするなど、交流の輪が確実に広がってきました。本校では初となる2名の短期留学生は、寮生活を送りながら、機械工学科と電子制御工学科で研究に取り組みました。短期留学生チューターの上田大君からの寄稿を紹介します。

私は、10月1日から12月19日まで、短期留学プログラムで奈良高専に来られたSong Yu Her君のチューターを務めさせていただきました。彼は在学中、与えられた研究はもちろんのこと、日本語の勉強や日本の文化を積極的に学んでいたことがとても印象的です。さらに、放課後は短期留学プログラムと一緒に来ているTan Yong Jing君と私の友人達も混ざってスポーツをしたり、食べたことのない日本の料理に挑戦したり、さまざまな方向から国際交流をしていました。帰国する時には、私や私の友人もSong Yu Her君、Tan Yong Jing君のおかげで、英語を使ってコミュニケーションをとれるまでになりました。このSong Yu Her君、Tan Yong Jing君の短期留学プログラムは、私にとって色々なことを学ぶ機会になりました。それは、日本語を話せない学生が隣にいて、常に英語を体感できる環境にいたからだと思います。そして、私はこのような機会が少しでも多く実施されれば奈良高専の学生にとっても良いと思っています。またこのような機会があった際は、積極的に参加したいです。

